|  |
| --- |
|  |

**Family law**

**財産分与調停申立書**

受付印

収 入 印 紙 円

予納郵便切手　　　　　円

家庭裁判所

　　　　　　　支部／出張所　御中

平成　　年　　月　　日

申　　立　　人

（又は法定代理人など）

の 記 名 押 印

 印

申　立　人

フ リ ガ ナ

氏 　　名

〒　　　－

□離婚時の夫婦の戸籍謄本（全部事項証明書）

□

□

添付書類

関連事件の有無：□なし　　□あり（平成　　年（家　　）第　　　　　　　号）

（この欄に申立て１件あたり収入印紙１，２００円分を貼ってください。）

（貼った印紙に押印しないでください。）

住　　　所

( 　　　　　　 方)

　　　　年　　　月　　　日生

　　　　　（　　　　　　　歳）

〒　　　－

住　　　所

相　手　方

（　　　　　　　　　　方）

フ リ ガ ナ

氏　　名

　　　　　年　　　月　　　日生

　　　　　（　　　　　　　歳）

申　立　て　の　趣　旨

相手方は、申立人に対し、財産分与として、相当額を支払う旨の調停を求める。

申　立　て　の　理　由

１　婚姻・離婚及び同居・別居の時期等

（１）婚姻の日：　　　　年　　月　　日　（２）同居をした日：　　　　年　　月　　日

（３）離婚の日：　　　　年　　月　　日　（４）別居をした日：　　　　年　　月　　日

２　夫婦が婚姻中に有した財産について

（１）相手方の財産

　　□　別紙財産目録記載の相手方名義の財産のとおり

　　□　別紙財産目録記載の相手方名義の財産以外にも存在する。

　　□　不明

（２）申立人の財産

　　□　なし

　　□　別紙財産目録記載の申立人名義の財産のとおり

　　□

３　申立ての趣旨記載の財産分与を求める理由

* 相手方が財産分与の話し合いに応じない。
* 夫婦で婚姻中に有した財産の範囲に争いがある。
* 話し合いを行ったが、合意できなかった。
* 当事者間で定めた財産分与の約束を守らない。
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

財　産　目　録　（自　宅）

（土地）

備　考

名　義

地番・地目・地積

所　　　　　　在

番号

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

（建物）

備　考

名　義

番号

所　　　　　　在

マンション名

家屋番号・種類・構造・床面積

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

（住宅ローン）

備　考

主債務者

（連帯）保証人

別居又は離婚の日

借入残高

借入日

借入金額

番号

財　産　目　録　（自宅以外の土地）

備　考

名　義

地番・地目・地積

所　　　　　　在

番号

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

財　産　目　録　（自宅以外の建物）

備　考

名　義

番号

所　　　　　　在

マンション名

家屋番号・種類・構造・床面積

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

□不動産登記事項証明書のとおり

財　産　目　録　（現金・預貯金・株式等）

注）　預金は銀行名、支店名、種類、口座番号を、株式は銘柄を、投資信託は種類を品目及び細目欄に記載してください。別居時または離婚時のいずれか早い時点の数量または金額を数量（金額）欄に記載してください。当該財産の名義（現金・登録等のない動産の場合は保管者）を名義欄に記載して下さい。

備　考

名　義

数量（金額）

細　目

品　　　目

番号

債　務　目　録　（住宅ローン以外）

注）金額欄には、離婚時または別居時のいずれか早い時点の残額を記載してください。

主債務者

金　　額

種　類

番号

債　権　者

（連帯保証人）

事　情　説　明　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　申立人　　　　　　　　　　　　　　　　印

１　今回、あなたがこの申立をした「きっかけ」、「動機」を書いてください。

２　調停で対立すると思われることはどんなことですか。

* 相手方の財産の内容又は金額（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* 申立人の財産の内容又は金額（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* 算定の基準時（別居の時期）
* 財産分与の方法
* 財産に対する貢献・寄与の程度
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　財産分与の金額や方法を決めるにあたって、考慮してほしい事情があれば書いてください。